

# 中期目標・中期計画（素案）

国立大学法人東北大学

平成21年6月24日

中期目標	中期計画
<p>(前文) 大学の基本的な目標</p> <p>東北大学は、開学以来の「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念及び「実学尊重」の精神を基に、数々の教育研究の成果を挙げてきた実績を踏まえ、これらの伝統、理念等を積極的に踏襲し、独創的な研究を基盤として高等教育を推進する総合大学として、以下の目標を掲げる。</p> <p>1 教育目標・教育理念 — 「指導的人材の養成」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部教育では、豊かな教養と人間性を持ち、人間・社会や自然の事象に対して「科学する心」を持って知的探究を行うような行動力のある人材、国際的視野に立ち多様な分野で専門性を発揮して指導的・中核的役割を果たす人材を養成する。</li> <li>・大学院教育では、世界水準の研究を理解し、これに創造的知見を加えて新たな展開を遂行できる創造力豊かな研究者及び高度な専門的知識を持つ高度専門職業人を養成する。</li> </ul> <p>2 使命 — 「研究中心大学」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探究等を目指す基礎科学を推進するとともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。それとともに、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。</li> <li>・知の創造・継承及び普及の拠点として、人間への深い理解と社会への広い視野・倫理観を持ち、高度な専門性を兼ね備えた行動力ある指導的人材を養成する。</li> </ul> <p>3 基本方針 — 「世界と地域に開かれた世界リーディング・ユニバーシティ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人類社会の様々な課題に挑戦し、人類社会の発展に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」であることを目指す。</li> <li>・世界と地域に開かれた大学として、自由と人権を尊重し、社会と文化の繁栄に貢献するため、「門戸開放」の理念に基づいて、国内外から、国籍、人種、性別、宗教等を問わず、豊かな資質を持つ学生と教育研究上の優れた能力や実績を持つ教員を迎え入れる。それとともに、産業界はもとより、広く社会と地域との連携研究、研究成果の社会への還元や有益な提言等の社会貢献を積極的に行う。</li> <li>・市民への開放講座、インターネットによる教育を積極的に推進するとともに、市民が学術文化に触れつつ憩える環境に配慮したキャンパスづくりを行う。</li> </ul>	
<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究組織</p> <p>1 中期目標の期間</p> <p>平成22年4月1日から平成28年3月31日までの6年間とする。</p>	
<p>2 教育研究組織</p> <p>この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科等及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点を置く。</p>	

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置
<p>1 教育に関する目標</p> <p>「知の継承体」として、築き上げてきた知を教授する教育システムの再構築を図り、「知の創造体」を担う高度な教養、専門的な知識及び国際的な視野を備えた指導的人材を養成する。</p> <p>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標</p> <p>① 大学教育の根幹となる教養教育を充実する。</p> <p>② 知を創造できる学士課程教育・大学院課程教育を充実する。</p> <p>③ 教育の国際化を促進する。</p> <p>④ アドミッションポリシーに適合する、意欲的な学生が受験する入試戦略を展開する。</p>	<p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>①-1 東北大学独自の教養教育カリキュラムの再構築</p> <p>□ 学生にとって人間力を高め、世界に向けて視野を広げ、専門教育の基礎を確立するとともに、大学院での異分野融合研究を創造していくために、本学独自の教養教育カリキュラムを編成する。</p> <p>②-1 学部専門教育の充実</p> <p>□ 社会貢献に必要な専門性・国際性の基盤となる専門分野に対する理解力と応用力を修得させるため、また、大学院進学後の高度専門教育にスムーズに移行するための基礎的専門知識と実践力を修得させるため、学部専門教育のカリキュラムの充実を図る。</p> <p>②-2 大学院教育カリキュラムの再構築</p> <p>□ 教養教育と専門基礎の上に築き上げられる高度な大学院教育にふさわしいカリキュラムを構築する。</p> <p>②-3 厳正かつ適切な成績評価の実施</p> <p>□ 教育プログラムの水準を保証する厳正かつ適切な成績評価を実施する。</p> <p>②-4 異分野融合領域における高度な研究人材の養成</p> <p>□ 国際高等研究教育機構、原子分子材料科学高等研究機構及びグローバルCOEプログラムとの連携の下で異分野融合領域における高度な研究人材の養成を進めるための教育プログラムを実施する。</p> <p>②-5 社会的要請の特に高い分野における人材の養成</p> <p>□ 社会的要請の特に高い分野における高度専門職業人の養成に対する期待にこたえて、高度専門職業人の計画的な養成を進めるための教育プログラムを実施する。</p> <p>③-1 国際的ネットワークの構築と学生の海外留学促進、受入れ留学生の増員等</p> <p>□ 国際水準の大学や機関との国際的ネットワークを構築し、スタディアブロードプログラム、海外インターンシップ等を実施する。</p> <p>□ 受入れ留学生の増員を促進するため、留学生の受入れ環境の整備を進める。</p> <p>④-1 学生募集力の向上</p> <p>□ 東北大学進学への動機付けを図るため、わかりやすいホームページの作成、説明会、オープンキャンパス</p>

	<p>ンパス、移動講座などの広報活動を展開する。</p> <p>④-2 アドミッションポリシーに適合する入学者選抜方法の改善</p> <p><input type="checkbox"/> アドミッションポリシーに適合する学生を確保するため、入学者選抜方法の継続的な点検・改善を図る。</p>
(2) 教育の実施体制等に関する目標	(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置
① 教養教育・学部専門教育・大学院教育の実施体制等を整備・充実する。	<p>①-1 教養教育の実施体制の整備・充実</p> <p><input type="checkbox"/> 全学体制による教養教育を強化するため、中核的な教育・研究組織を整備する。</p> <p>①-2 学部専門教育・大学院教育の実施体制の整備・充実</p> <p><input type="checkbox"/> 教員の多様性を確保するため、外国人教員の増員、年齢構成やジェンダー・バランス、実務経験等にも配慮した適切な教員配置を進める。</p> <p>①-3 eラーニングによる教育システムの拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 効率的・効果的な教育を展開するため、eラーニングによる教育システムの拡充を図る。</p> <p>①-4 教育の質の向上方策の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 教育の質の向上を図るため、教育改善活動を推進する。</p>
(3) 学生への支援に関する目標	(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置
① 学生支援体制を充実する。	<p>①-1 修学支援の充実</p> <p><input type="checkbox"/> 修学支援の取組を充実する。</p> <p>①-2 課外活動の活性化</p> <p><input type="checkbox"/> 人間性を高め社会性を育むため、課外活動の活性化を図る。</p> <p>①-3 キャリア支援の推進</p> <p><input type="checkbox"/> キャリア支援の取組を推進する。</p>
2 研究に関する目標	2 研究に関する目標を達成するための措置
「知の創造体」として、長期的視野に立つ基盤研究と戦略的研究の推進のために東北大学独自の最先端の研究体制の再構築を図り、世界トップレベルの研究成果を創出する。	
(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標	(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置
① 長期的視野に立つ基盤研究と戦略的研究を推進する。	<p>①-1 長期的視野に立つ基盤研究の充実</p> <p><input type="checkbox"/> 基盤研究の重要性及び基盤研究と応用研究の不可分性に照らし、各部局・研究者の自由な発想と独創性のある研究を支援、推進する。</p> <p><input type="checkbox"/> 共同利用・共同研究拠点は、大学の枠を超えて全国に開かれた関連研究分野の中核としての使命を</p>

	<p>遂行するため、一層の改善を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 附置研究所は、学術研究の動向や経済社会の変化に対応しながらその機能を十分に発揮し、高い研究水準を維持する学術研究の中核的研究拠点としての使命を遂行するため、一層の改善を行う。</p> <p>①-2 社会的課題にこたえる戦略的研究の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 社会的ニーズと本学の多様な研究シーズを組み合わせ、社会的課題にこたえる戦略的研究を推進する。</p> <p>①-3 世界トップレベルの特定研究領域の育成</p> <p><input type="checkbox"/> 世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラム（WP I）に採択され発足させた原子分子材料科学高等研究機構を世界最高の国際研究ネットワーク拠点に発展させるため、その組織の強化と支援を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> グローバルCOEプログラムの採択など中核的研究拠点として国際的プロジェクト研究や共同事業を推進する。</p>
② 新機軸研究にチャレンジする。	<p>②-1 国際高等研究教育機構等による新機軸研究の牽引</p> <p><input type="checkbox"/> 国際高等研究教育機構、原子分子材料科学高等研究機構、医工学研究科等を活用し、新機軸研究を推進する。</p> <p>②-2 トランスレーショナル・リサーチ（基礎から臨床への橋渡し研究）の促進</p> <p><input type="checkbox"/> トランスレーショナル・リサーチ（基礎から臨床への橋渡し研究）を促進するため、未来医工学研究治療開発センターの充実を図り、トランスレーショナル・リサーチの推進を担う人材育成の教育システムを構築する。</p>
③ 国際共同研究を推進する。	<p>③-1 国際的ネットワークの構築による国際共同研究の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 国際水準の大学・研究機関との国際学術ネットワークを通じた国際共同研究を推進する。</p>
(2) 研究実施体制等に関する目標	(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置
① 研究中心大学「東北大学」の研究基盤を強化する。	<p>①-1 戦略的研究支援機能の強化</p> <p><input type="checkbox"/> 社会的ニーズと本学の多様な研究シーズを組み合わせることができる戦略的研究支援機能を強化する。</p>
② 国際研究拠点としての環境整備を図る。	<p>②-1 世界第一線の研究者が集う国際的研究の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 外国人研究員・教員の受入れ環境の整備を進める。</p>
3 その他の目標 「世界と地域に開かれた大学」として、東北大学の人的・知的資源を広く社会に還元して、人類社会全体の発展に貢献する。	3 その他の目標を達成するための措置

<p>(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標</p> <p>① 社会との連携を強化する。</p>	<p>(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置</p> <p>①-1 国家政策及び地域政策への貢献  <input type="checkbox"/> 国家政策や地域政策の策定等にも積極的に貢献するため、国や地方公共団体に向けての政策提言や教職員の審議会等への積極的参画を推奨する。</p> <p>①-2 教育と文化への貢献  <input type="checkbox"/> 教育と文化への貢献活動として、社会の要望を取り入れた企画を実施する。</p> <p>①-3 地域における国公私を通じた大学間連携（大学コンソーシアム等）の促進  <input type="checkbox"/> 地域における国公立大学等との積極的連携を図るため、大学コンソーシアムの推進等による交流の促進を行う。</p>
<p>② 産学の連携を強化する。</p>	<p>②-1 産学連携研究の推進  <input type="checkbox"/> 国際的視点または地域的視点に基づく本学の研究シーズと企業のニーズをマッチングさせた共同研究を推進する。</p> <p>②-2 サイエンスパーク構想の実現に向けた取組  <input type="checkbox"/> サイエンスパーク構想の実現に向けた取組を推進する。</p>
<p>(2) 国際化に関する目標</p>	<p>(2) 国際化に関する目標を達成するための措置</p>
<p>① 大学運営等の国際化を促進する。</p>	<p>①-1 国際化に対応する運営体制の整備  <input type="checkbox"/> 国際連携関係組織の機能を強化する。</p> <p>①-2 国際的ネットワークの形成・展開  <input type="checkbox"/> 国際水準の大学や機関との国際的ネットワークに参加し、交流を推進する。</p> <p>①-3 国際的戦略広報の確立  <input type="checkbox"/> 国際的な知名度を高めるための広報活動を展開する。</p>
<p>(3) 附属病院に関する目標</p>	<p>(3) 附属病院に関する目標を達成するための措置</p>
<p>① 質の高い医療の提供及び医療サービスの向上を図る。</p>	<p>①-1 効率的かつ先進的な診療体制の整備  <input type="checkbox"/> 患者サービスの質の向上及び効率的かつ先進的な診療体制の整備を図る。</p> <p>①-2 医療安全及び医療の質の向上  <input type="checkbox"/> 医療の安全及び医療の質の向上を図るための取組を充実する。</p>
<p>② 安定的な病院運営・財政基盤の強化を図る。</p>	<p>②-1 安定した病院財政基盤の確立  <input type="checkbox"/> 安定した病院財政基盤の構築を図る。</p> <p>②-2 管理運営体制の整備  <input type="checkbox"/> 病院機能の向上に向けて、管理運営体制を充実する。</p>

<p>③ 質の高い医療人の養成及び臨床研究の推進を図る。</p>	<p>③-1 医療人養成キャリアパスの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 社会の要請にこたえる医療人を養成するため、卒前から卒後までの一貫したキャリアパスを構築する。</li> </ul> <p>③-2 先進的医療の開発及び臨床研究への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 先進的医療の開発及び臨床研究への支援を行う体制の整備を図る。</li> </ul>
<p>④ 地域に開かれた病院として地域貢献の推進を図る。</p>	<p>④-1 地域医療への貢献活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 社会や地域との医療連携を推進する。</li> </ul>
<p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p>	<p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>
<p>1 組織運営の改善に関する目標</p>	<p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p>
<p>① 大学運営システムの機能強化を図る。</p>	<p>①-1 機動的・戦略的な運営組織の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 迅速かつ効率的な戦略展開力の強化を図るため、戦略的な法人経営体制を整備する。</li> </ul> <p>①-2 内部監査の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 監査結果に基づく業務改善を図る実効性ある仕組みを整備するため、内部監査体制を充実する。</li> </ul>
<p>② 大学を支える人材の確保・活用を図れる人事システムを構築する。</p>	<p>②-1 国際競争力を支える教員の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 国際水準の教育研究等の質の確保・向上を目指して、多様な教員を多様な方法で確保する仕組みを教員のキャリアパスに適切に組み込んでいく。</li> </ul> <p>②-2 東北大学式人事処遇システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 本学の戦略的・機動的な大学運営と教育研究の高度化による更なる躍進を目指して、東北大学式人事処遇システムを立案し、実行する。</li> </ul> <p>②-3 多様な努力が報われる評価システムの確立と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 評価については、職種等の特性を踏まえて適切に実施し、必要に応じて改善を行う。</li> </ul> <p>②-4 男女共同参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 男女共同参画の推進に向けて、目標の設定、育児と仕事の両立支援策の導入など、総合的・計画的な取組を推進する。</li> </ul>
<p>③ 安定した財政運営を図りながら、学内資源の効果的な配分体制を整備する。</p>	<p>③-1 安定した自己財政基盤の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 中長期財政計画をベースに、予算編成を通じて基盤的な経費と戦略的な経費の調整を行う。</li> </ul> <p>③-2 総長裁量経費の重点投資</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 総長裁量経費の戦略的・重点的な投資を行う。</li> </ul> <p>③-3 部局マネジメントに連動する資源の配分</p>

	<input type="checkbox"/> 部局マネジメントに連動する資源の配分を行う。 ③-4 国際競争力を支える人材配置システムの再構築 <input type="checkbox"/> 大学の学術領域、価値観の多様性、基礎研究の重要性などに配慮しつつ、全学として機動的・戦略的な人件費配分や人材配置等を可能とする仕組みを整備する。
2 事務等の効率化・合理化に関する目標 ① 業務プロセスの改革、事務機構の再構築等により事務等の効率化・合理化を図る。	2 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置 ①-1 業務プロセスの改革 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改革を支える全学的に統合・一元化された情報基盤の整備を進めながら、業務プロセスの改革を進める。 ①-2 効率的かつ効果的な事務機構の再構築 <input type="checkbox"/> 組織・人事マネジメントの改革を進める。
III 財務内容の改善に関する目標	III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置
1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標 ① 外部研究資金の一層の獲得を図るとともに、自己収入の増加を図る。	1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置 ①-1 外部研究資金の拡充 <input type="checkbox"/> 外部資金の拡充を図るため、外部資金獲得の支援体制を強化する。 ①-2 基金の充実 <input type="checkbox"/> 東北大学基金の恒久的な拡充を図るための取組を強化する。
2 経費の抑制に関する目標 (1) 人件費の削減 ① 「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)において示された総人件費改革の実行計画及び「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」(平成18年7月7日)に基づき、人件費削減の取組を行う。	2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置 (1) 人件費の削減 ①-1 人件費の計画的削減 <input type="checkbox"/> 総人件費改革の実行計画による平成22年度までの削減目標を達成するとともに、平成23年度までの削減を継続する。
(2) 人件費以外の経費の削減 ① 管理的経費を削減する。	(2) 人件費以外の経費の削減 ①-1 管理的経費の削減の徹底 <input type="checkbox"/> 管理的経費の削減を徹底するため、業務内容や業務方法の見直しを行う。
3 資産の運用管理の改善に関する目標 ① 最善の資産運用を行う。	3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置 ①-1 資産の効率的・効果的運用 <input type="checkbox"/> 資産運用体制を整備し、外部専門家の助言も得ながら資産運用管理を行う。

IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標	IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置
<p>1 評価の充実に関する目標</p> <p>① 自己点検・評価の内容等の充実を図り、評価結果を大学運営の改善等に活用する。</p> <p>2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標</p> <p>① 研究・教育成果等の積極的発信を行う。</p>	<p>1 評価の充実に関する目標を達成するための措置</p> <p>①-1 自己点検・評価等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 自己点検・評価の行動計画を策定し、定期的実施する。</li> <li><input type="checkbox"/> 世界的視点からの外部評価を取り入れる。</li> </ul> <p>①-2 評価結果の大学運営への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 全学及び部局に対する評価の結果を踏まえて、大学の業務運営や教育研究活動等の改善に活用する。</li> </ul> <p>2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置</p> <p>①-1 研究者に向けた研究・教育成果の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 東北大学機関リポジトリ（TOUR）を整備・充実する。</li> </ul> <p>①-2 一般市民に向けた研究・教育成果の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 研究成果をホームページやサイエンスカフェ等から発信する。</li> </ul>
V その他業務運営に関する重要目標	V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置
<p>1 施設設備の整備・活用等に関する目標</p> <p>① 国際水準のキャンパス環境を整備する。</p> <p>2 環境保全・安全管理に関する目標</p> <p>① 環境と安全に配慮したキャンパスの整備を進める。</p>	<p>1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置</p> <p>①-1 教育研究活動を支えるキャンパス整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 各キャンパスの特性を踏まえたビジョンやマスタープランに沿った整備計画の具体化を進める。</li> <li><input type="checkbox"/> 青葉山新キャンパスの整備に際しては、雨宮キャンパス等の地価状況や立地価値を踏まえた再評価に基づき資金計画の見直しを行い、整備手法と資金計画を立案して進める。</li> <li><input type="checkbox"/> 施設設備の整備ニーズに関する点検評価を行い、整備事業のプランを策定し、計画的に進める。</li> </ul> <p>①-2 施設設備の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 施設設備の更なる高効率な活用を促進する。</li> </ul> <p>2 環境保全・安全管理に関する目標を達成するための措置</p> <p>①-1 環境保全・安全管理の責任体制の充実と社会貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 地球環境に優しいエコキャンパスを目指して、本学にふさわしい環境マネジメントシステムを導入する。</li> <li><input type="checkbox"/> 環境保全・安全管理体制の更なる質の向上を図るため、環境保全・安全管理を一元的に管理する組織体制の充実を図る。</li> <li><input type="checkbox"/> 二酸化炭素の排出削減と更なる省エネルギーに取り組むため、「東北大学における温室効果ガス排出削減等のための実施計画」を着実に実行する。</li> </ul>

	<p>①-2 宮城県沖地震対策の強化</p> <p>□ 災害に強いキャンパスを目指して、「東北大学地震対策基盤プロジェクト」を実行し、学内システムの点検・見直しを進め、シミュレーションに基づく実践的訓練を実施する。</p> <p>①-3 キャンパスの安全の確保</p> <p>□ 交通、防犯などの点で安心できる快適なキャンパスづくりを進める。</p>
3 法令遵守に関する目標	3 法令遵守に関する目標を達成するための措置
① コンプライアンスの徹底を図る。	①-1 コンプライアンス活動の徹底
	□ コンプライアンス推進体制を構築し、コンプライアンスの周知徹底を図る。
4 情報基盤等の整備・活用に関する目標	4 情報基盤等の整備・活用に関する目標を達成するための措置
① 大学運営の基盤となる情報基盤等の整備を行う。	①-1 情報基盤の全学的・体系的整備
	□ 「東北大学情報化推進アクションプラン」を着実に実行する。
	①-2 学術情報拠点としての図書館機能の改善
	□ 図書館を本学の学術情報の拠点と位置付け、それにふさわしい図書館機能の改善を図る。
5 大学支援者等との連携強化に関する目標	5 大学支援者等との連携強化に関する目標を達成するための措置
① 東北大学ネットワークの形成を図る。	①-1 東北大学全教職員・学生・地域住民との一体感のある大学づくり
	□ 東北大学全教職員・学生・地域住民との一体感の創成を図るための活動を展開する。
	①-2 同窓会の充実
	□ 東北大学校友会を中心とした校友へのサービスを通じて大学と卒業生の連携を強化する。
	<p>(その他の記載事項) (中期目標・中期計画(原案)提出時(H22年1月末)までに整理)</p> <p>○予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画 ○出資計画 ○短期借入金の限度額</p> <p>○長期借入金又は債券発行の計画 ○重要財産の処分(譲渡・担保提供)計画 ○剰余金の使途</p> <p>○施設・設備に関する計画</p>

中期目標		中期計画			
別表1 (学部、研究科等)		別表 (収容定員)			
学部	文学部	文学部	840人		
	教育学部	教育学部	280人		
	法学部	法学部	640人		
	経済学部	経済学部	1,080人		
	理学部	理学部	1,296人		
	医学部	医学部	1,228人 (うち医師養成に係る分野 620人)		
	歯学部	歯学部	330人 (うち歯科医師養成に係る分野 330人)		
	薬学部	薬学部	340人		
	工学部	工学部	3,240人		
	農学部	農学部	600人		
研究科	文学研究科	文学研究科	313人	うち前期課程	178人
	教育学研究科	教育学研究科	140人	後期課程	135人
	法学研究科	法学研究科	440人	うち前期課程	86人
	経済学研究科	経済学研究科	240人	後期課程	54人
	理学研究科	理学研究科	914人	うち前期課程	40人
	医学系研究科	医学系研究科	761人	後期課程	60人
	歯学研究科	歯学研究科	200人	法科大学院課程	280人
	薬学研究科	薬学研究科	189人	専門職学位課程	60人
	工学研究科	工学研究科	1,794人	うち前期課程	100人
	農学研究科	農学研究科	338人	後期課程	60人
	国際文化研究科	国際文化研究科	210人	専門職学位課程	80人
	情報科学研究科	情報科学研究科	421人	うち前期課程	524人
	生命科学研究科	生命科学研究科	353人	後期課程	390人
	環境科学研究科	環境科学研究科	241人	うち前期課程	104人
	医工学研究科	医工学研究科	92人	後期課程	43人
	教育情報学教育部・教育部	教育情報学教育部	39人	修士課程	80人
				博士課程	534人
				うち修士課程	12人
				博士課程	188人
			うち前期課程	111人	
			後期課程	78人	
			工学研究科	1,794人	
			うち前期課程	1,272人	
			後期課程	522人	
			農学研究科	338人	
			うち前期課程	218人	
			後期課程	120人	
			国際文化研究科	210人	
			うち前期課程	96人	
			後期課程	114人	
			情報科学研究科	421人	
			うち前期課程	280人	
			後期課程	141人	
			生命科学研究科	353人	
			うち前期課程	212人	
			後期課程	141人	
			環境科学研究科	241人	
			うち前期課程	150人	
			後期課程	91人	
			医工学研究科	92人	
			うち前期課程	62人	
			後期課程	30人	
			教育情報学教育部	39人	
			うち前期課程	24人	
			後期課程	15人	
別表2 (共同利用・共同研究拠点)					
	金属材料研究所				
	電気通信研究所				
	流体科学研究所				
	多元物質科学研究所				
	加齢医学研究所				
	サイバーサイエンスセンター				

	文学部	840人		
	教育学部	280人		
	法学部	640人		
	経済学部	1,080人		
	理学部	1,296人		
	医学部	1,238人	(うち医師養成に係る分野	630人)
	歯学部	330人	(うち歯科医師養成に係る分野	330人)
	薬学部	360人		
	工学部	3,240人		
	農学部	600人		
平成 23 年度	文学研究科	313人	うち前期課程	178人
			後期課程	135人
	教育学研究科	140人	うち前期課程	86人
			後期課程	54人
	法学研究科	420人	うち前期課程	40人
			後期課程	60人
			法科大学院課程	260人
			専門職学位課程	60人
	経済学研究科	240人	うち前期課程	100人
			後期課程	60人
			専門職学位課程	80人
	理学研究科	914人	うち前期課程	524人
			後期課程	390人
	医学系研究科	757人	うち前期課程	104人
			後期課程	53人
			修士課程	80人
			博士課程	520人
	歯学研究科	200人	うち修士課程	12人
			博士課程	188人
	薬学研究科	186人	うち前期課程	108人
			後期課程	78人
	工学研究科	1,794人	うち前期課程	1,272人
			後期課程	522人
	農学研究科	329人	うち前期課程	218人
			後期課程	111人
	国際文化研究科	210人	うち前期課程	96人
			後期課程	114人
情報科学研究科	406人	うち前期課程	280人	
		後期課程	126人	
生命科学研究科	353人	うち前期課程	212人	
		後期課程	141人	
環境科学研究科	256人	うち前期課程	170人	
		後期課程	86人	
医工学研究科	92人	うち前期課程	62人	
		後期課程	30人	
教育情報学教育部	39人	うち前期課程	24人	
		後期課程	15人	

	文学部	840人		
	教育学部	280人		
	法学部	640人		
	経済学部	1,080人		
	理学部	1,296人		
	医学部	1,248人	(うち医師養成に係る分野	640人)
	歯学部	330人	(うち歯科医師養成に係る分野	330人)
	薬学部	360人		
	工学部	3,240人		
	農学部	600人		
平成 24 年 度	文学研究科	313人	うち前期課程	178人
			後期課程	135人
	教育学研究科	140人	うち前期課程	86人
			後期課程	54人
	法学研究科	400人	うち前期課程	40人
			後期課程	60人
			法科大学院課程	240人
			専門職学位課程	60人
	経済学研究科	240人	うち前期課程	100人
			後期課程	60人
			専門職学位課程	80人
	理学研究科	914人	うち前期課程	524人
			後期課程	390人
	医学系研究科	767人	うち前期課程	104人
			後期課程	63人
			修士課程	80人
			博士課程	520人
	歯学研究科	200人	うち修士課程	12人
			博士課程	188人
	薬学研究科	186人	うち前期課程	108人
			後期課程	78人
	工学研究科	1,794人	うち前期課程	1,272人
			後期課程	522人
	農学研究科	329人	うち前期課程	218人
			後期課程	111人
	国際文化研究科	210人	うち前期課程	96人
			後期課程	114人
情報科学研究科	406人	うち前期課程	280人	
		後期課程	126人	
生命科学研究科	353人	うち前期課程	212人	
		後期課程	141人	
環境科学研究科	251人	うち前期課程	170人	
		後期課程	81人	
医工学研究科	92人	うち前期課程	62人	
		後期課程	30人	
教育情報学教育部	39人	うち前期課程	24人	
		後期課程	15人	

	文学部	840人		
	教育学部	280人		
	法学部	640人		
	経済学部	1,080人		
	理学部	1,296人		
	医学部	1,258人	(うち医師養成に係る分野	650人)
	歯学部	330人	(うち歯科医師養成に係る分野	330人)
	薬学部	360人		
	工学部	3,240人		
	農学部	600人		
平成 25 年 度	文学研究科	313人	うち前期課程	178人
			後期課程	135人
	教育学研究科	140人	うち前期課程	86人
			後期課程	54人
	法学研究科	400人	うち前期課程	40人
			後期課程	60人
			法科大学院課程	240人
			専門職学位課程	60人
	経済学研究科	240人	うち前期課程	100人
			後期課程	60人
			専門職学位課程	80人
	理学研究科	914人	うち前期課程	524人
			後期課程	390人
	医学系研究科	767人	うち前期課程	104人
			後期課程	63人
			修士課程	80人
			博士課程	520人
	歯学研究科	200人	うち修士課程	12人
			博士課程	188人
	薬学研究科	186人	うち前期課程	108人
			後期課程	78人
	工学研究科	1,794人	うち前期課程	1,272人
			後期課程	522人
	農学研究科	329人	うち前期課程	218人
			後期課程	111人
	国際文化研究科	210人	うち前期課程	96人
			後期課程	114人
情報科学研究科	406人	うち前期課程	280人	
		後期課程	126人	
生命科学研究科	353人	うち前期課程	212人	
		後期課程	141人	
環境科学研究科	251人	うち前期課程	170人	
		後期課程	81人	
医工学研究科	92人	うち前期課程	62人	
		後期課程	30人	
教育情報学教育部	39人	うち前期課程	24人	
		後期課程	15人	

	文学部	840人		
	教育学部	280人		
	法学部	640人		
	経済学部	1,080人		
	理学部	1,296人		
	医学部	1,268人	(うち医師養成に係る分野	660人)
	歯学部	330人	(うち歯科医師養成に係る分野	330人)
	薬学部	360人		
	工学部	3,240人		
	農学部	600人		
平成 26 年 度	文学研究科	313人	うち前期課程	178人
			後期課程	135人
	教育学研究科	140人	うち前期課程	86人
			後期課程	54人
	法学研究科	400人	うち前期課程	40人
			後期課程	60人
			法科大学院課程	240人
			専門職学位課程	60人
	経済学研究科	240人	うち前期課程	100人
			後期課程	60人
			専門職学位課程	80人
	理学研究科	914人	うち前期課程	524人
			後期課程	390人
	医学系研究科	767人	うち前期課程	104人
			後期課程	63人
			修士課程	80人
			博士課程	520人
	歯学研究科	200人	うち修士課程	12人
			博士課程	188人
	薬学研究科	186人	うち前期課程	108人
			後期課程	78人
	工学研究科	1,794人	うち前期課程	1,272人
			後期課程	522人
	農学研究科	329人	うち前期課程	218人
			後期課程	111人
	国際文化研究科	210人	うち前期課程	96人
		後期課程	114人	
情報科学研究科	406人	うち前期課程	280人	
		後期課程	126人	
生命科学研究科	353人	うち前期課程	212人	
		後期課程	141人	
環境科学研究科	251人	うち前期課程	170人	
		後期課程	81人	
医工学研究科	92人	うち前期課程	62人	
		後期課程	30人	
教育情報学教育部	39人	うち前期課程	24人	
		後期課程	15人	

	文学部	840人		
	教育学部	280人		
	法学部	640人		
	経済学部	1,080人		
	理学部	1,296人		
	医学部	1,268人	(うち医師養成に係る分野	660人)
	歯学部	330人	(うち歯科医師養成に係る分野	330人)
	薬学部	360人		
	工学部	3,240人		
	農学部	600人		
平成 27 年度	文学研究科	313人	うち前期課程	178人
			後期課程	135人
	教育学研究科	140人	うち前期課程	86人
			後期課程	54人
	法学研究科	400人	うち前期課程	40人
			後期課程	60人
			法科大学院課程	240人
			専門職学位課程	60人
	経済学研究科	240人	うち前期課程	100人
			後期課程	60人
			専門職学位課程	80人
	理学研究科	914人	うち前期課程	524人
			後期課程	390人
	医学系研究科	767人	うち前期課程	104人
			後期課程	63人
			修士課程	80人
			博士課程	520人
	歯学研究科	200人	うち修士課程	12人
			博士課程	188人
	薬学研究科	186人	うち前期課程	108人
			後期課程	78人
	工学研究科	1,794人	うち前期課程	1,272人
			後期課程	522人
	農学研究科	329人	うち前期課程	218人
			後期課程	111人
	国際文化研究科	210人	うち前期課程	96人
			後期課程	114人
情報科学研究科	406人	うち前期課程	280人	
		後期課程	126人	
生命科学研究科	353人	うち前期課程	212人	
		後期課程	141人	
環境科学研究科	251人	うち前期課程	170人	
		後期課程	81人	
医工学研究科	92人	うち前期課程	62人	
		後期課程	30人	
教育情報学教育部	39人	うち前期課程	24人	
		後期課程	15人	